

令和3年度 コミュニティからのご意見

栗 熊 コミュニティ

意見 1	<p>1. 市民交流活動センター「マルタス」は、栗熊のみならず綾歌住民にとって、遠方過ぎて利用しづらいのは明白である。定期的に栗熊の日などを設けて、市の専用バスを出してほしい。</p> <p>※合併以来、南部住民の負っている住民サービス格差解消のために、1・2を要望します。</p> <p>(回答)</p> <p>ご意見のとおり、マルタスは市役所新庁舎複合施設として大手町に建設されており、市南部からは立地場所が遠い施設となっております。</p> <p>先日行った利用者アンケートによると、マルタス利用者は丸亀市内が6割、中讃地域が3割、また、交通手段としましては、約9割の方が車移動という結果でございました。車でご来館することがむずかしい方においてはバスでご来館いただけるよう、マルタス南側にバス停留所を配置し、マルタス館内オープンラウンジにはバスの運行状況がわかるサイネージを設置しております。マルタス滞在時間は30分～2時間以内が8割を越えており、バスの発着時間に合わせたご利用も可能となっております。</p> <p>つきましては、現在丸亀コミュニティバス綾歌宇多津線の利用という選択肢がございますことから、市専用バスを走らせることについては難しいと考えます。今後も関係者と協議しながら、改善できる点については改善していきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
意見 2	<p>2. 車の免許返納者を中心に綾歌地区の高齢者に対して、綾川町が実施しているような「コトデン割引制度」を実施してほしい。</p> <p>※合併以来、南部住民の負っている住民サービス格差解消のために、1・2を要望します。</p> <p>(回答)</p> <p>現在、丸亀市には公共交通手段として、鉄道事業では市域北部にJR、南部にはコトデンが運行され、他の市町へのアクセスを担っており、また、バス事業では琴参バスの運行するコミュニティバスや路線バスが市内の様々な地域をつなぐ役目を担い、市民の方々の足として活用いただいていることと思われま。</p> <p>運転免許証返納者の方のように自家用車等を持っていないものの、広域移動をする際は、上記のような公共交通手段をご利用いただく必要がありますが、その負担軽減のため本市では、運転免許証返納者に対しては、市が運行補助を行っているコミュニティバスの利用料金が半額となる取り扱いをしていることに加え、1万円分の「タクシー利用券」、「ICOCA」、「フリーIRUCA」、「離島航路回数券」などの中からご利用しやすいものを選択し、支援する制度も整備しております。</p> <p>市内の様々な地域をつなぐコミュニティバスでは、市内全域でバランスを考えた路線を確保しているところではありますが、居住地によってはバス停等の配置から利用しにくい場所があるかと思ひます。</p> <p>今後は、ご要望にあるようなコトデンの利用に特化した支援策ではなく、コミュニティバスも含め、交通空白地を極力なくせるよう新しい公共交通のあり方の検討をすす</p>

	<p>めてまいりたいと考えておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。</p>
<p>ご意見 3</p>	<p>3. 栗熊保育所南側の市道「馬指北岡線」は、非常に道幅が狭く、車がすれ違うことが出来ません。この道は小、中学生の通学路にもなっております。保育所への送り迎えで混雑する時間帯などは、車の出入りが激しく、児童や生徒たちは非常に危険な思いをしています。いずれ大きな事故が起きるのではないかと心配でなりません。取り返しのつかない事態になる前に、せめて車がすれ違えるぐらいの道幅に出来ないものでしょうか。</p> <p>(回答)</p> <p>市道馬指北岡線の拡幅についてですが、まずは、通学時間帯の車の通行量など、現状を把握し、地元のご意見も伺いながら、拡幅工事を含めた有効な対策を検討したいと考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。</p>